



1年を終え そしてこれから

市議会という場に臨んで1年が過ぎます。この間、多くの叱咤激励をいただいておりますことを心から感謝申し上げます。

今、改めて感じるのは、国であろうと、県や市であろうと、政治の場では、数の力は大きな要素であり、具体的な施策には優先と選択の論理があるということです。ただ、その一方で常に訴えていかなければならない真理というものがあるのは間違いありません。数に流され、優先と選択の中で口を閉ざすことは寂しいものです。大切なのは、同じ言葉でいろいろな角度から思いを伝え、対応を求めていくことなのです。それだけに、多くの市民のみなさんの言葉をしっかりと受けとめ、咀嚼していく姿勢を持ち続けることが大切なのだと改めて感じています。まだまだ未熟さを感じるころが大ですが、自分の中で、いろいろな事柄が少しずつ繋がりがつあります。さあ、2年目となります。「行動・実践」を大切に臨んでいく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



当初予算から見えるもの

洲上市長にとって、初めて編成する当初予算案であり、それが審議される3月議会は、私にとって新鮮なものでした。「敦賀再興予算」と位置づけ、市長のマニフェストでもある「行政の棚卸しの断行」が形となって現れたものでした。

一般会計 252億8,551万3千円
特別会計 182億2,155万5千円
企業会計 103億6,267万6千円

合計

538億6,974万4千円

【主な新規事業】

○アクアトム整備事業費	2億
○国体関係予算(人件費を含む)	3億7800万
○市立看護大大学院関係	510万
○西部地区土地改良事業調査検討費	1573万
○大河ドラマ「真田丸」連携事業費	611万
○杉津船だまり施設整備費	7000万
○焼却等処理施設基本構想策定事業費	1748万
○気比神宮大鳥居保存修理事業費補助金	317万

【廃止・見直しの主な事業】

○心身障害者手帳4級所有者への医療費助成
○観光物産フェア開催補助金
○家族介護継続支援事業
○教育フェア
○観光協会への補助・助成 など、26事業

予算には「方向」と「力」と「タイミング」が大切なのだと考えます。方向とは目的、力は予算額、タイミングは効果ということになるのでしょうか。これからも、それがしっかりと目に見える透明性と説明責任を求めていかななくてはならないと強く感じます。

代表質問の中から

1 市長の提案理由・市政の運営方針について

水を与え、花を咲かせる

市長の、「この1年は、土を耕し、種を蒔いた。しっかりと水をやり、大きく育て、新しい敦賀という花を咲かせたい」という言葉から、これからの施政への強い思いを感じました。ただ、水は潤沢ではありません。限られた水なのです。であるならば、大切な場所に必要な無駄のない適量の水を与えていくことが求められます。

そのためにも、今の敦賀の生活実態を把握することが大切です。特に、今大きな社会的な問題ともなっている「貧困」や「子供の貧困」に対する実態把握、またはそれに変わる実態指標は何としても必要であると考えます。

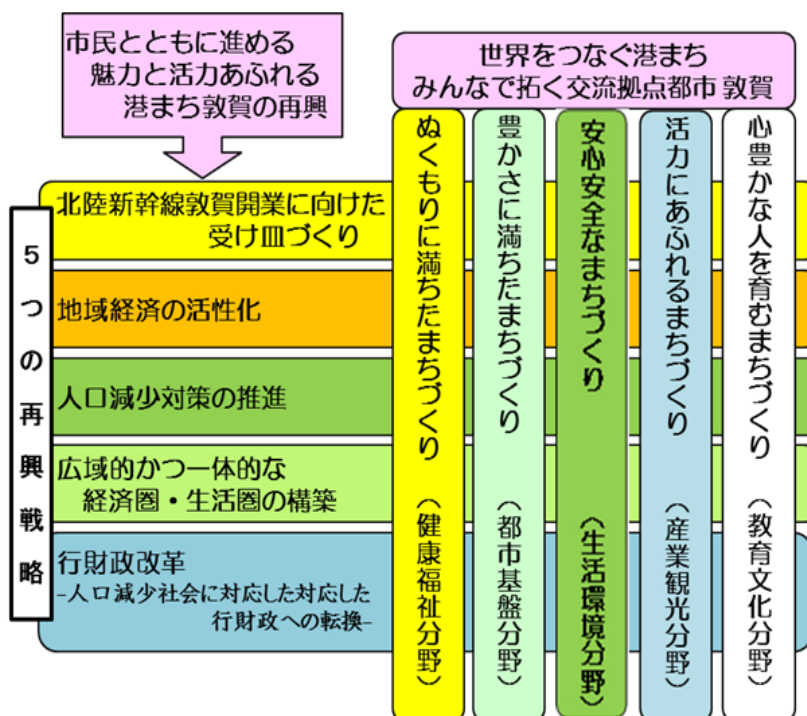
無駄・無理・むらのない事業にするためにも、実態把握のその上にいろいろな施策を積み上げていく姿勢が大切であることを、これからも訴えていきたいと思います。

2 敦賀市総合計画後期原案と中長期財政計画について

意識改革を

先日公表された敦賀市第6次総合計画の後期基本計画原案の5つの「再興戦略」が示されました。【再興戦略とは】これまでの縦割りであった5つの重点戦略に、それらを横断する5つの再興戦略を横串として通したものです。(下図参照)

- 従来あった形を変えていこうとするとき、「職員の縦割り意識の变革」と「行政組織改革」は不可欠です。長期間撮ってきた形を変えていくことは大きなエネルギーが必要ですし、摩擦も想像以上に大きなものとなるに違いありません。それでもやっていくことが新しい行政・新しい敦賀づくりに繋がっていくのだと思います。
- 大切なのは、再興戦略によって何を達成していこうとしているのかという目標だと考えます。再興戦略は、そのための手段です。その点では、手段領域に終始した説明に終わったことは残念な気がします。



- ◇3月議会では、曖昧だった組織改革ですが、4月に市の機構改革の一環として、課や課内室の新設、名称変更が打ち出されました。(広報敦賀 5月号 P.13)
- ◇難しいのはこれまでの縦割り意識をいかに変えていくことができるかという点です。組織改革には大いに賛同するところであるだけに、それを期待し、精一杯応援していきたいと思います。

3 職員の給与・処遇について

市民生活にも直結

○公務員であるが故に、市民のことが優先されるべきであることが大前提です。

しかし、敦賀市は、退職職員の補充を極力抑え、職員数を抑えてきているとともに、「給与水準が低い」と市当局も示しています。それ以上に大きな問題として、非正規職員の賃金の問題があります。平成26年度の非正規職員は432人、率にして31.4%となっています。中でもパート職員の賃金は、ハローワーク求人票の中でも目立つくらいに低い状況です。国として「同一労働同一賃金」を進めていこうとしている中、パート時給の改善は喫緊の課題でもあるのです。

特に、気がかりなのは、保育士の方の処遇です。33.1%の方が非正規の勤務です。

これから、生産人口減少の中で、女性の労働は不可欠の要素です。女性が安心して仕事に就ける社会を支えるには、子育て支援が欠かせません。保育士さんの賃金や



処遇が他市町とバランスとれたものでなければ、為されなければ、市の保育は、人材不足という大きなリスクを背負うことになるのは明白であり、保育が大きな危機を迎えることになります。

◇市からは、最低賃金の推移にも注視して必要があればやらねばならないものの、全体のバランスを見ながら、まずは、勤務環境の改善から着手していきたい旨の回答でしたが、現状のままでは、市民サービスの低下と、職員の勤務態勢の限界・処遇の悪化を生み出します。**私たち市民の生活にも直結する問題であることを機ある毎に訴え、一日も早く、非正規職員の処遇改善に着手することを求めています。**

6 教育の問題について

待たれる具現化

○教育問題は盛りだくさんです。「教育大綱」「総合教育会議」「小中教育環境検討委員会」「角鹿中学校」をキーワードとして、方向性と進捗状況を伺いました。

○議会後に、「教育大綱の策定」と「小中教育環境検討委員会の答申」について、説明会がもたれました。

敦賀市教育大綱

【教育目標】 ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

【教育理念】 「白砂青松」の地である敦賀を愛し、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成するため、家庭・学校・地域が一体となって、先人が築き上げた伝統を受け継ぎ、「人道の港」敦賀ならではの魅力ある教育を推進する

のもと、**4つの方針**と**20の基本施策**が示されました。

【基本方針】 (1) 学校教育の充実 (2) 社会教育の充実と活性化
(3) 文化の振興・支援 (4) スポーツの振興及び推進

今後、これらをもとに、「**教育振興基本計画**」が策定されていくこととなります。

小中教育環境検討委員会答申

その中心となっていた「角鹿中学校と校区3小学校との統合」については、「角鹿中学校に小中一貫校を設置することが合理的」という答申が示されました。**市は「今年度、地域住民らでつくる角鹿中学校統合検討委員会を立ち上げ、設置に向けて動き出す」としています。** 今後も、その動きにしっかりと注目していきます。

代表質問では、今回取り上げたもの以外に、「駅周辺整備計画」「国道8号線(本町)2車線化」「国体」についても質問させていただきました。いずれもその時点では、市民に対して説明責任が果たされていないと感じます。『透明性』と『公平感』という言葉が薄っぺらなものにならないよう、これからもしっかりと見定めていきたいと思ひます。

詳細は、ホームページでお読みいただけます。

活動の足跡(1月・2月・3月)

- 1月10日 成人式に列席
- 11日 消防団出初式に列席
議員説明会
- 16日 嶺南地区吹奏楽アソシエーションコンサート
- 14日 広報広聴委員会
議員研修会(県自治会館)
- 25日 議会運営委員会
議員説明会
- 26日 地方自治学習会に参加
- 28日 広報広聴委員会

1月は、連合福井、各産別の組合の旗開に参加させていただく機会がたくさんありました。労働・生活という問題について、気持ちを強くする場でもありました。

1月末から2月にかけて、嶺南地区の文化ホールを訪問させていただき、芸術・音楽文化振興についての方針と予算概要について調査させていただきました。

- 2月 5日 広報広聴委員会
- 15日 原子力特別委員会
- 16日 日本海地誌研究会に参加
- 18日 3月議会告示・議会運営委員会
- 25日 3月議会開催(～3/22)
- 3月 5日 環境フェアへの出演
- 25日 水戸市との姉妹都市50周年式典に参加
- 26日 嶺南市町議員説明会(小浜市)
- 28日 議員説明会・広報広聴委員会
- 29日 消防議会

雑感 『癒えぬ悲しみ』

無力な自分を感じざるを得ない状況の下で、突然襲ってくる大切な人の死を、私たちはどのように受け入れられるだろう。

考えてみれば、空に関わること、海に関わること、そして自然に関わること……そのような場面があまりにも多過ぎるように感じる。

突然襲った熊本地震。一瞬にして日常を奪われる悲しみに言葉を失う。

先日の嶺南吹奏楽祭で、東日本大震災の復興ソング「花は咲く」の指揮をさせていただき、改めて歌詞の深さを感じることができた。その歌詞に登場する「叶えたい夢もあった 変わりたい自分もいた 今はただ懐かしい あの人を思い出す」という亡き人からの言葉が胸を締め付ける。果たして、人が状況証拠だけで(物的な根拠を手にはせず)

大切な人の死を受け入れることができるのだろうか、熊本でこの歌が歌われるのは、まだまだ先になることだろう。今はただ、精一杯生きること日本という国がすべての力を注ぎ込むしかない。



TUTTIはどうしても私の活動報告が中心となります。年4回発行されている「市議会だより」では、市議会全体の様子が紹介されていますので、是非併せてご覧下さい。

発行責任者 市民クラブ

編集責任者 北川 博規

E-mail h.kitagawa131@gmail.com

ホームページ <http://kitagawa-hiroki.net/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/hiroki.kitagawa.754>

敦賀市津内町1丁目12-10 TEL.090-1319-6667 FAX.0770-22-4121

この議会だよりは、一部政務活動費で発行しています。